学校番号３５　　令和８年８月策定

秋田県立横手高等学校定時制課程　中期ビジョン（５か年計画）

【令和８年度～令和１２年度】

Ⅰ　本校が目指す姿

①スクール・ミッション

自分のペースでの学びを通して、豊かな人間力と社会で生き抜く力を育む学校

②スクール・ポリシー

（ｉ）グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

「自己と社会の未来を切り拓く人材」を目指し、社会で必要とされる資質・能力の育成のために、次の具体的な手立てを講じる。

・　規律ある生活

健康的な生活リズムを身に付けさせるとともに、端正な整容や明るいあいさつ、場面に応じた言葉遣いなど、社会において求められる行動ができる人材の育成を図る。

・　知的好奇心を刺激し、生徒の成長を促す授業

生徒が様々なことに興味をもち、疑問に対して主体的に取り組む習慣を身につけさせる授業と、対話的な学習を行って思考を深めさせる。適切なフィードバックにより、生徒自身の成長が実感できる働きかけを行う。

・　生徒会活動・部活動の活性化

生徒会行事を主体的に運営したり、部活動・ボランティア活動に取り組んだり、多くの方々と協働する活動を奨励し、自己肯定感や自己有用感を育てる。

・　キャリア教育の推進

外部人材の講話及びインターシップ並びにアルバイト等を通じて、社会の一員としての自覚を育み、自己の将来について考えさせるとともに、コミュニケーション能力や自他の理解能力を高める。

・　人間尊重の精神及び公共の精神の涵養

学校生活のあらゆる場面を通して、生命や人権の大切さを教え、多様な価値観を認める寛容さと、社会の一員として求められる公共の精神を育成する。

（ii）カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

すべての教育活動において人格の完成と進路目標達成を含めた自己実現を促し、変化が早く先行き不透明な時代に柔軟に適応し、社会に貢献しようとする人間の育成を図る。

（iii）アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

・　自主的、自律的に基本的生活習慣の確立に努める生徒

・　目的意識をもって、学習や資格取得に向け積極的に取り組む生徒

・　特別教育活動に意欲的に取り組み、他者と協力し、努力し、自己啓発に努める生徒

II　スクール・ポリシーを踏まえた５年間の取組

①　現状と課題

青雲館は、２部制、単位制、２学期制などの導入や少人数でのクラス編成により、多様な学習ニーズに応える場を提供している。また、２部制を活用した三修制（選択）により、３年間での卒業も可能である。さらに、小中学生等を対象としたフリースクール的空間『スペース・イオよこて』の機能をもつほか、秋田明徳館高校通信制の協力校として、希望者にスクーリングを行う定時制基幹校としての役割を担っている。

様々な事情で学校を続けることが困難な生徒や、学び直すために転入・編入する生徒に対しても、一人一人が自分のペースで学習できるように支援している。発達障害等がある生徒へは通級による指導等を行い、手厚い支援で多様な生徒を受け入れている。学校での教育活動に加え、校内外の幅広い活動を通して、生徒の総合的な人間力を育み、社会に主体的に参画する力を育成している。しかし、本校においても周囲となじめず、不登校傾向になる生徒が少なからず存在する。居場所作り等を通して、登校できるような環境を作り上げていくことが今後の課題である。

②具体的な取組

学習指導	基礎学力の定着	学び直しとしての選択科目群に基礎講座を設ける。
	授業のＵＤ化	授業のめあて、流れを視覚的に示し、ＩＣＴ機器等を活用するなどユニバーサルデザイン（ＵＤ）を意識した授業を行う。
	選択授業の拡充	興味・関心や進路希望に応じて履修できる多くの選択授業を開設する。選択前に履修説明会を行い、各科目の授業内容を丁寧に説明する。
	資格取得の奨励	資格取得（漢字検定、英語検定、簿記実務検定、情報処理検定、ビジネス文書実務検定、ビジネス計算実務検定、危険物取扱者等）を奨励し、技能審査の成果の水準により卒業に必要な単位に認定する。
特別支援	合理的配慮	すべての生徒及び保護者に「合理的配慮の提供」を周知し、チェックリストの活用や提供項目の合意形成による支援を行う。
	通級による指導	教職員間で対象生徒のニーズを共有し、個に応じた指導や支援を行う。
	専門性の向上	外部関係機関との連携や研修会及びケース検討会の充実を図り、支援の強化に努める。
特別活動等	ＬＨＲ	新聞を活用した進路スクラップを行い、進路意識を高める。
	学校行事の充実	学校祭、防災・避難所開設訓練、クラスマッチ、なべっこ、百人一首大会やかまくら体験等、喜びや達成感を実感できる行事を行う。
	部活動の奨励	自信を深め、仲間の大切さを知り、人と関わることの意義深さを学ぶ機会として、部や同好会の活動を推奨する。
地域連携等	防災・避難所開設訓練	地域住民、横手市危機管理課、横手市消防署、ＪＲ横手駅、秋田県立衛生看護学院、民間企業など多くの方々から協力をいただきながら、生徒が主体的に運営できるよう取り組む。
	ボランティア活動	横手市観光協会、横手市観光おもてなし課、県南ＮＰＯセンター等と協力して、生徒に様々なボランティア活動を紹介する。